

問題4 つぎの(1)から(4)の文章を読んで、質問に答えなさい。答えは、1・2・3・4から最もよいものを一つえらびなさい。

(1)

これは留学生が大学院の先生に送ったメールである。

あて先：tanaka@daigaku.ac.jp
件名：先日のお礼とお願ひ
送信日時：2019年11月1日 16：30

田中次郎先生

先日はお忙しいところお時間をとっていただき、ありがとうございました。

先生にお目にかかり、ますます先生にご指導いただきたいという気持ちが強くなりました。
研究計画書についてご注意くださいところは、今直しております。

来月、ゼミの見学をさせていただけるということでしたが、私はいつでもかまいませんので、
先生のご都合をお知らせいただければ幸いです。
どうぞよろしくお願いいたします。

ダン ワンリン

(注1) ゼミ：ゼミナール。大学で教員の指導の下に少数の学生が集まって研究、発表、討論などをするもの。

(注2) ～いただければ幸いです：～てもらえればうれしい／幸せだ、という意味。手紙でよく使う。

24 このメールで一番伝えたいことは何か。

- 1 先生の指導を受けたいということ
- 2 研究計画書を直していること
- 3 ゼミの見学をさせてほしいこと
- 4 ゼミの見学ができる日を知らせてほしいこと

(2)

これは友人^{ゆうじん}に聞いた話です。彼女はある国でコートを買ひ、自分のカードで支払い^{しはら}をしました。品物^{しなもの}を受け取ろうとすると、その店の店員は、「大きい荷物^{にもつ}は男性が持つのが当然^{とうぜん}です」と言って、店の入り口近くで待っていた彼女の夫^{おつと}に品物^{しなもの}を渡^{わた}したそうです。これは女性は弱い^{おとこより}のだから男性が守らなければならないという、昔からの習慣^{しゅうかん}があるからなのでしょう。女性の社会進出^{しんしゅつ}が日本よりずっと進み男女平等^{びやうどう}であるはずの国での出来事^{できごと}に、友人は何となく不思議^{ふしぎ}な気持ちになったそうです。

25 何に対して不思議^{ふしぎ}な気持ちになったのか。

- 1 男女平等^{びやうどう}の国なので、女性は自分のお金を出さなくていいこと
- 2 男女平等^{びやうどう}の国なので、女性が社会進出^{しんしゅつ}をしていること
- 3 男女平等^{びやうどう}の国なのに、まだ女性は弱いものとされていること
- 4 男女平等^{びやうどう}の国なので、弱い女性も力が必要な仕事をしていること

(3)

これは^{りゅうがくせい}留学生のアンディさんが^{おの}小野さん^{ふうふ}夫婦に出した手紙である。

^{おの}小野一郎さま、^{けいこ}敬子さま

先日は大変お世話になり、ありがとうございました。2週間もホームステイをさせていただき、^{おの}小野さんの^{ぼくじょう}牧場で^{じっしゅう}実習ができたことは、私にとってとてもいい^{けいけん}経験になりました。学校で^{ぼくちく}牧畜について^(注1)学んでいても、^{じっさい}実際の仕事とはずいぶん違^{ちが}うということもわかりました。^(注2)手作りのチーズやバターのおいしさも忘れられません。卒業して国に帰ったら、この^{けいけん}経験を^い生かして^{がんば}頑張ろうと思います。ありがとうございました。

9月1日

アンディ・ビカス

(注1) ^{ぼくじょう}牧場：牛や馬などを^{そだ}育てる^{ところ}所

(注2) ^{ぼくちく}牧畜：牛・馬・羊などの^{かちく}家畜を^{そだ}育てる^{さんぎょう}産業

26 この手紙からわかることは何か。

- 1 アンディさんは^{おの}小野さんに^{ぼくちく}牧畜について教えてもらっている。
- 2 アンディさんは^{おの}小野さんの^{ぼくじょう}牧場で仕事をさせてもらった。
- 3 アンディさんはチーズやバターの作り方を覚えたいと思っている。
- 4 アンディさんは^{そつぎょう}卒業したら^{おの}小野さんの^{ぼくじょう}牧場で働くつもりだ。

(4)

何年か前からだが、子どもたちの名前に簡単に^{かんたん}には読めないものが増えてきたように思う。たとえば、「宇宙」と書いて「そら」と読んだり、「愛利」と書いて「ラブリー」と読んだりするのだ。これではまるでクイズのようだ。読み方だけの問題ではない。親が子どもにどんな名前を付けても自由だが、私のような昭和^{しゅうわ}生まれの世代^{せだい}だとあまりにも変^{へん}なものが多いと感じる。しかし、今の子どもたちはきつとどんな名前であっても変^{へん}などとは思わないでそのまま受け入れるのだろう。そういう名前と赤ちゃんの時から接^{せつ}しているのだから。

(注) 昭和^{しゅうわ}：1926年から1989年までの間。昭和天皇^{しゅうわ てんのう}が天皇^{てんのう}だった期間^{きかん}を言う。

27 子どもの名前について「私」はどのように考えているか。

- 1 変^{へん}な名前は絶対^{ぜったい}に付^つけないほうがいい。
- 2 読みやすい名前でない子どもが後^{あと}で困^{こま}るだろう。
- 3 変^{へん}だと思っても人の名前は受け入れなければいけない。
- 4 今の子どもは変^{へん}な名前だとは思っていないだろう。

問題5 つぎの(1)と(2)の文章を読んで、質問に答えなさい。答えは、1・2・3・4から最もよいものを一つえらびなさい。

(1)

日本には浮世絵という美術があります。これは江戸時代(1603～1868)に江戸(今の東京)の町(注2)人の間で(注1)うきよえ(注1)びじゅつ(注1)が(注1)あったもので、版画(注3)はんが(注3)、つまり印刷(注3)いんさつしたものですから何枚も同じものがあり、一枚が今でいうと数百円で買えたそうです。歌舞伎(注4)かぶき(注4)の人気役者の絵や、旅行ガイドのように江戸の町(注4)ふじさん(注4)や富士山をいろいろな所から見て描いた絵もありました。当時、ヨーロッパなどでは、芸術(注4)げいじゅつ(注4)は一部の上流階級だけのものでしたが、日本では一般庶民が絵を買って楽しんでいました。江戸時代は、戦争のない時代でしたから、江戸や大阪の町人たちの間で華やかな文化が花開いたのでしょう。値段も安くとても身近なものですから、日本人はこの浮世絵に芸術的な価値があるとは思っていませんでした。その価値を教えてくれたのは、江戸時代の終わりに次(つぎ)の明治時代(1868～)にかけて日本に来ていた西洋人たちだったのです。そして、これはフランスの美術にも大きな影響を与えました。

(注1) 浮世絵：江戸時代に発達した民衆的な風俗画。版画が多い。

(注2) 町人：江戸時代に都市に住んでいた商人や職人の身分の人。

(注3) 版画：木などに絵をほり、それで印刷したもの。

(注4) 歌舞伎：江戸時代にできた日本独特の演劇。

28 値段も安くとあるが、なぜ値段が安かったのか。

- 1 庶民のものだから
- 2 印刷したものだから
- 3 価値のないものだから
- 4 歌舞伎の広告用だから

29 日本がヨーロッパと違っていたのはどのようなことか。

- 1 日本では庶民が芸術を楽しんでいたこと
- 2 日本では芸術が上流階級のものだったこと
- 3 日本では上流階級も同じ芸術を楽しんでいたこと
- 4 日本では芸術が身近なものではなかったこと

30 このころの日本人について本文と合っているものはどれか。

- 1 日本人は町人も上流階級だと思っていた。
- 2 浮世絵が西洋の美術に影響を与えていた。
- 3 自分たちが文化を育てているという気持ちがあった。
- 4 自分たちの文化に価値があることを知らなかった。

問題6 つぎの文章を読んで、質問に答えなさい。答えは、1・2・3・4から最もよいものを一つえらびなさい。

以前、日本にきたある国のビジネスマンが言っていました。「東京は^{とうきょう だいとかい}大都会なのに町^{まち}の真^まん中^{なか}に大きい森^{めいじじんぐう}があつてびっくりしました」と。大きい森とは、明治神宮^(注1)のことでした。高い所^{とうきょう}から東京を見渡^{みわた}すと、ところどころに緑^①のかたまりが見えます。それは木々がたくさん集まっている場所^{ばしょ}で、その一つが明治神宮^{めいじじんぐう}の森^①なのです。明治天皇^{めいじてんのう}が亡^なくなったのが1912年^(注2)、明治神宮は明治天皇^{めいじじんぐう}を祭^{まつ}るために建^{けん}てられた神社^{じんじや}で1920年^{かんせい}に完成^{かんせい}しました。この場所^{ばしょ}に明治神宮^{めいじじんぐう}が建^{けん}てられると決^{けつ}まったころ、このあたりは作物^{さくもつ}があまり育^あたない荒^あれた土地^{とち}でした。そこに神社^{じんじや}にふさわしい森^(注3)をつくらうというこ^う事^じになって、庭^{てん}づくりの専^{せん}門^{もん}家^かたちがい^いろい^ろ考^{かう}え、計^{けい}画^{かく}を立^たてて木^うを植^うえたのです。こ^こは、人^{しぜん}の手^てでつ^{つく}られた林^{りん}のようには見^みえま^{せん}せん。自然^{しぜん}に近い森^②をつくるために、東京^{とうきょう}に大昔^{しぜん}から自然^{しぜん}に生^はえていた種^{しゅ}類^{るい}の木^う々^うを植^うえたからです。初^{はつ}めは12万本^う植^うえたそうですが、今^{いま}は3万6千本^うに減^へっています。それは木々^{ききう}同^{どう}士^しの競^{きやう}争^{そう}が自然^{しぜん}に起^おこつて、弱^{じやく}い^いもの^{もの}は育^うたな^なかつたからです。昔^{むかし}か^③らある自然^{しぜん}の森^{しん}と同^{どう}じ^じこ^こが起^おこ^こるよう^{よう}にと考^{かう}えた庭^{てん}づくりの専^{せん}門^{もん}家^かたち^③の計^{けい}画^{かく}どおり^{どおり}で^でした。競^{きやう}争^{そう}に勝^{かち}ち^ち残^{のこ}った木^きは、今^{いま}ではと^とも大^{だい}き^きな木^きに成^{せい}長^{ちやう}して^{して}いま^{いま}す。

こ^ここでは、た^たと^とえ木^きが倒^{たお}れても人^{ひと}は何^{なん}もし^しま^ません。た^ただ見^み守^もつて^てい^いるだ^だけだ^だそう^{そう}です。す^すべ^べてを^を自然^{しぜん}のま^ままに^にし^して^てい^いるの^のです。今^{いま}、こ^ここを管^{かん}理^りする人^{ひと}が^がし^して^てい^いるこ^ことは、落^おち^ち葉^はを掃^はき集^しめ、それ^{それ}を森^{しん}の木^き々^うの根^ね元^{もと}に^に戻^もすこ^こど^どけ^けです。

何^{なん}も^もない荒^あれた土地^{とち}に木^きを植^うえて100年^{ねん}、森^{しん}は大^{だい}き^きく成^{せい}長^{ちやう}しま^ました。こ^これは100年^{ねん}前^{ぜん}の人^{ひと}たち^{たち}から私^{わたくし}たち^{たち}へ^への贈^{おく}り物^{もの}な^なの^のです。

(注1) 明治神宮：東京にある大きい神社

(注2) 明治天皇：1867年から1912年までの天皇。天皇：古代からの日本の君主の称号

(注3) 荒れた土地：石などが多く作物が育ちにくい土地

34 こ^こで①緑^{ろく}のかたまり^{かたまり}と^とい^いつて^てい^いる^るの^のは^は何^{なん}の^のこ^こと^とか^か。

- 1 大きい木
- 2 森のような所
- 3 緑の山
- 4 緑の建物

35 ②計画を立てたとあるが、どういう計画を立てたのか。

- 1 大きくなる木を植えようという計画
- 2 荒れた土地を木が育つ土地にしようという計画
- 3 自然に近い森をつくろうという計画
- 4 東京に自生する木を植えようという計画

36 ③昔からある自然の森と同じこととはどういうことか。

- 1 荒れた土地でも大きく育つ木もあること
- 2 いろいろな種類の木が大きく育つこと
- 3 何種類かの木だけしか大きく育たないこと
- 4 木々同士の競争が起こり強いものだけが残ること

37 この森の管理について本文の内容と合っているものはどれか。

- 1 ほとんどのことを自然のままにしている。
- 2 自然な森に見えるように苦勞をしている。
- 3 弱い木も大きく育つように手を入れている。
- 4 誰もまったく何もしない。

問題7 右のページは、北東市の情報紙にのった留学生交流会のお知らせである。これを読んで、下の質問に答えなさい。答えは、1・2・3・4から最もよいものを一つえらびなさい。

38 つぎ 次^{つぎ}の4人^{さん}のうち、交流会^{こうりゅうかい}に参加^{さんか}できるのは誰^{だれ}か。

- 1 パクさん : 北東大学^{そつぎょう}を卒業^{そつぎょう}して、日本の会社^{しゅうしよく}に就職^{しゅうしよく}して4年目。
- 2 リンさん : 北東市内^{とくい}のほかの大学^すの留学生^す。料理^{とくい}が得意^{とくい}でごちそうするのが好き。
- 3 パウロさん : 北東大学^{かしゅ}の近くに住む歌手^{かしゅ}。自分の歌^{かしゅ}を聞いてほしいと思っている。
- 4 アンナさん : 北東市内^{そつぎょう}のほかの大学^{そつぎょう}の卒業生^{そつぎょう}。市内^{しゅうしよく}の会社^{しゅうしよく}に就職^{しゅうしよく}して3年目。

39 北東大学4年生^{こうりゅうかい}のサラさん^{さん}は交流会^{さんか}に参加^{さんか}して国の歌^{しゅうかい}を紹介^{しゅうかい}したいと思っている。どうすればいいか。

- 1 すぐにメールで申し込み^{もうこ}、歌^{もうこ}のくわしい話^{もうこ}をする日時^{もうこ}の希望^{もうこ}を伝える。
- 2 すぐにメールで申し込み^{もうこ}、連絡^{れんらく}が来たら歌^{しゅうかい}を紹介^{しゅうかい}したいことを伝える。
- 3 10月18日までに、歌^{もうこ}を歌^{もうこ}いたいことを書いてメールで申し込む。
- 4 9月30日までに、歌^{もうこ}を歌^{もうこ}いたいことを書いてメールで申し込む。

北東大学からのお知らせ

留学生の皆さん、北東大学国際交流会では下記のように留学生・元留学生と日本人学生との交流会を開くことになりました。

料理を食べながら、留学生活で困っていること、これからのことなど、いろいろなことを語り合うという場にしたいと思います。

また、国際交流会の日本人の学生がお好み焼きやすしなどの料理を用意しますので、留学生の皆さんの中にお国の料理を作ってくださいの方がいらっしゃれば、申し出てください。

また、歌を歌ったりダンスをしたりしてくださる方も申し出てください。

★参加資格：北東大学の留学生

北東市内のほかの大学の留学生

北東市内で仕事をしている北東大学の元留学生（仕事を始めて3年以内）

- 日時：10月18日（土） 12：00 ～ 16：00
- 場所：北東大学キャンパス内の「大食堂」
- 会費：500円
- 参加申し込み：9月16日（火）10：00 ～ 9月30日（火）17：00

下記にメールで申し込んでください。

北東大学国際交流会 kouryuukai@hokutou.....

※料理を作ってください方、歌を歌ったりダンスをしたりしてくださる方は、申し込み時にそのことを書いてください。あとでくわしいことを相談します。日時はこちらから連絡します。

※料理は食堂の調理場でできます。

では、皆さん、ふるってご参加ください。

連絡、お待ちしております。



北東大学国際交流会